

## 今週の News

1. 第 200 回理事会/総会に付議すべき事項について
2. 総会后シンポジウム・懇親会のお知らせ
3. 全国まちづくり会議の準備状況
4. まちビト・トークオンライン#11 の開催

### ■第 200 回理事会/総会に付議すべき事項について

5月26日に行われた第 200 回理事会では、6月の総会に諮る議案等に関する審議、報告が行われました。

#### ①第1号議案

—2021 年度事業報告書及び活動計算書について

事務局より、第 1 号議案 2021 年度事業報告及び活動計算に関する説明が行われました。財務面では JANPIA(休眠預金)や国土交通省からの助成金を得ましたが、会員減少に伴う会費収入やイベント収入の減少、法人税等の費用により約 180 万円の支出超過となりました。これらを含め賛成多数で了承されました。

#### ②第2号議案

—2022 年度事業計画及び活動予算書について

事務局より、第 2 号議案 2022 年度事業計画及び活動予算に関する説明が行われました。事業計画では、新たなビジョン・ミッションの下、事業構成と体制を見直し以下の7つの部会・委員会構成で臨むこととしています。

〈まちづくり支援部会〉

・地域主体のまちづくり推進事業、まちづくり相談事業、日本都市計画家協会賞、災害復興支援を行い、全国の草の根まちづくりを支援する。

〈フォーラム部会〉

・全国まちづくり会議等の企画・開催、及び各地で交流事業等の開催企画、情報発信を行う。

〈地域活動部会〉

・支部主催の J'sCafé の開催、支部・地方会員の満足度向上に向けた検討等、地方と本部のシームレス化に向けた取組を行う。

〈プランナー育成部会〉

・次世代のまちづくりを担う若手プランナー育成にむけ、サステイナブルな社会づくりを進めていく上でまちづくり分野の専門家としての役割・意義を考えるカレッジ等を提供する。

〈企業連携部会〉

・社会課題解決に意欲的な企業の活動を JSURP の知見で支援し、課題をかかえる地域をつなぐことを目的に、企業との対話と平行しまちづくり基礎講座の動画作成等を行う。

〈広報交流部会〉

・JSURP の活動をより多くの人、支援を求めているところに伝えるため、planners の発行、HP のリニューアル、SNS 配信強化、オンラインコミュニティツールの活用を企画・実施する。

〈事業経営部会〉

・会員減少に伴う協会の財政危機を打開し、財政基盤の抜本的な改善を図るため、アクションプランの立案、寄付キャンペーンや SNS・HP を通じた寄付の獲得、カレッジ・全まち会議等を通じた若手会員の獲得を図る。

また、抜本的な財務改善に向けて執行部・理事会が一丸となってファンドレイジング・広報活動を強化することによって収支バランスの確保を図る

#### ③第3号議案—定款の変更について

高鍋副会長より協会活動の強化、特に執行部活動の強化に向けて、定款 13 条の2、副会長の人数に関する規定を「1 人以上 2 人以内」から「1 人以上 5 人以内」に変更する提案が行われ、承認されました。

#### ④第4号議案

—役員改選(理事、監事、会長、名誉会長)について

理事・監事・会長の立候補は5月 24 日に締め切られました。理事の立候補者 36 名、監事 2 名、会長 1 名を第 4 号議案とすることが承認されました。

また、定款 20 条2項3項(名誉会長の再任)に則り伊藤滋初代会長の名誉会長再任についても承認されました。

〈理事立候補者〉

安藤裕之、井上忠佳、内山征、海野芳幸、江田隆三、江井仙佳、加藤孝明、神谷秀美、小泉秀樹、小林真幸、近藤洋介、坂井猛、佐谷和江、園田聡、高鍋剛、高野哲夫、千葉葉子、中川智之、中西正彦、長谷川隆三、原拓也、臂徹、平井一步、平下貴博、堀江佑典、牧淳司、三谷繭子、守茂昭、山本一馬、渡会清治(以上再任)  
阿部俊彦、木村静、久保享、小泉瑛一、谷村晃子、益尾孝祐(以上新任)

〈監事立候補者〉佐伯直、笹原 克(以上再任)

〈会長立候補者〉山本俊哉(新任)

### ■総会后シンポジウム・懇親会のお知らせ

恒例の総会后に行われるシンポジウム・懇親会を以下のよう

●場所: axle お茶の水イベントホール

●シンポジウム(鼎談:15 時 15 分から1時間程度)

テーマ:『JSURP とプランナーのこれから』

登壇者:新旧の会長、MC(高鍋副会長)

●懇親会(16 時 30 分~17 時 45 分)

参加費:参加費 4,000 円(学生 1,000 円)

同時に axle お茶の水ツアー(新事務所のご案内)

### ■2022 年度 JSURP 総会の開催について

日時:令和 4 年 6 月 25 日(土) 13 時~15 時

その後、シンポジウム・懇親会の開催

場所:千代田区神田小川町 3 丁目 28 番地 5

axle 御茶ノ水イベントホール

3 年ぶりのリアルな総会です。ぜひご出席・ご参加を

## ■全国まちづくり会議の準備状況

全まち 2022 の準備は着々と進んでいます。

5月27日には会場となる千葉大学墨田サテライトキャンパス内にあるUDC すみだで、第4回の実行委員会が開かれました。

5月末の時点で概ね確定しているのは

① 開催日時:2022年10月8日(土)、9日(日)

②開催場所:千葉大学墨田サテライトキャンパス

東京都墨田区文花 1-19-1

最寄駅:東武亀戸線小村井駅、押上駅等

③基本テーマまちづくりの原点を探る

★大会フライヤーV1



墨田区はJSURPにとっても馴染みの深い地域です。名誉会長の伊藤滋先生や名誉会員の大熊喜昌さんをはじめ多くの方々が、例えば1960年代後半頃から京島地区の防災まちづくりに係り、その後も不燃化事業や密集事業などさまざまな形で行政や地元の方々と協働してきました。そして空き家活用・空き店舗活用などに活躍する方々も今回の実行委員として参加しています。

そして実行委員会終了後の懇親会はJSURPらしい地域を知るためのコミュニケーションの場となります。今回は近年TV等でも放送されたキラキラ橋商店街にある紙谷委員のお店(ハト屋パン店)が会場でした。

★委員会後のハト屋パン店での意見交換会



★次回の実行委員会

6月20日(月)18時からUDC すみだで開催。

実行委員会に参加して墨田のまちの奥深さを知ろう。

## ■まちビット・トークオンライン#11の開催

テーマ:神社清掃による祭コミュニティの拡がり

講師:宮田宣也氏

(一社)明日禰代表理事、祭エンジン主宰

今回のまちビット・トークは、オミヤクリーン(神社清掃)や祭エンジン(祭を応援するふるさと納税のようなシステム)を通して、衰退しつつある祭文化を支え価値を高める取り組みをされている宮田さんをお招きし、ご自身の祭への想いや、本来の祭の在り方、コロナ禍をチャンスと捉えて祭文化を盛り上げる活動をお話いただきます!

【こんな方にご参加いただきたい!】

- ・自分が暮らすまちの祭を継続したい、復活させたい
- ・祭ができない日々を過ごすヒントを得たい方
- ・地域主体のまちづくりに関心のある方

日時:2022年6月17日(金)19:00~21:00

開催方法:オンライン Zoom 開催 参加費:無料

申込:<https://forms.gle/dYPAa1N7LymLgMnM6>

受付締切日:2022年6月16日(木)17:00迄

イベント詳細:<https://fb.me/e/3jh85wiav>

主催:まちビット会議(JSURP 若手プロジェクト)

## ■名誉会員規定の設定と名誉会員の推挙

協会創設から来年で30年、NPO設立からでも22年となります。創設期に協会活動を先導されてきた会員の方々に対して然るべき対処をすべきとの考えから「名誉会員規定」を定めることとしました。

協会定款6条(会員の種別)では正会員、賛助会員、学生会員、名誉会員等の4種を定めています。4番目の名誉会員等には「別に定めるところにより、名誉会員、終身会員、特別会員を置くことができる」としており、名誉会員規定として5月26日の理事会において承認されました。

主な要件は、原則として80歳以上の正会員・個人賛助会員で25年以上在籍し、本協会の運営、活動に多大の貢献(例:会長等役員経験、設立時発起人等)が認められる方としました。名誉会員の推挙は理事1名、あるいは正会員3名以上の連名による発議に基づき、理事会で決定することとしました。

名誉会員の特典・権利は年会費の免除、会報・協会情報等の提供、協会会議室の利用や協会主催イベント等参加条件は正会員と同様としますが、役員への被選挙権・選挙権はありません。

この規定に基づいて伊藤滋初代会長、黒川洗2代目会長、加川浩さん、伊丹勝さん、蓑原敬さん、山野浩さんの6名を新たに名誉会員に推挙しました。すでに大熊喜昌さん、伊達美德さん、鈴木崇英さん、林洋太郎さん、光多長温さん、(故)司波寛氏、(故)鳥栖那智夫氏)の7名が名誉会員となられています(また終身会員は現在、渡部与四郎さん、平野侃三さんの2名です)。

## ■6月の予定

①6月3日(金)ものづくり・まちづくり研究会

②6月16日(木)まちビット・トークオンライン#11

③6月20日(月)全まち特別委員会(UDC すみだ)

④6月25日(土)2022年度総会